

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社

コード番号 5805 URL <http://www.swcc.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中島 文明

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR・広報グループ長 (氏名) 館山 雄一

TEL 03-5404-6951

四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	111,028	△13.1	2,149	—	1,020	—	769	—
28年3月期第3四半期	127,758	△3.8	△136	—	△1,509	—	△2,001	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △151百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △1,847百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	2.50	—
28年3月期第3四半期	△6.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	114,521	25,572	22.0
28年3月期	123,069	25,724	20.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 25,138百万円 28年3月期 25,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 平成29年3月期の配当予想額については未定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	△9.9	3,300	247.4	1,500	—	800	—	2.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	308,268,611株	28年3月期	308,268,611株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	136,661株	28年3月期	132,882株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	308,134,373株	28年3月期3Q	308,140,250株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成28年11月2日に公表した平成29年3月期通期連結業績予想につきましては、平成29年2月2日付の「平成29年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました内容を記載しております。
2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資は維持・更新を中心に底堅く推移しましたが、米国新政権への移行や英国のEU離脱決定等により各国政策の不確実性が高まり、先行きは不透明な状況で推移しました。

電線業界におきましては、自動車向けは堅調に推移しましたが、建設・電販向け等を中心に電線全体の需要は減少傾向で推移しました。

このような環境下、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は1,110億28百万円（前年同四半期対比13.1%減）となりました。損益面では、営業利益は21億49百万円（前年同四半期は1億36百万円の営業損失）、経常利益は10億20百万円（前年同四半期は15億9百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億69百万円（前年同四半期は20億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間より報告セグメントの区分をそれぞれ変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

（電線線材事業）

固定費削減等による改善はありましたが、国内建設・電販向け需要が減少したことから、売上高は501億67百万円（前年同四半期対比16.9%減）、営業利益は6億90百万円（前年同四半期対比0.8%増）となりました。

（電力システム事業）

輸出向けは低調でしたが、国内向け需要が底堅く推移し、前年度に実施した子会社統合等の効果もあり、売上高は166億56百万円（前年同四半期対比2.7%減）、営業利益は4億8百万円（前年同四半期は7億円の営業損失）となりました。

（巻線事業）

中国現地法人では厳しい状況が継続しているものの改善傾向にあり、国内自動車用電装品向け巻線等の需要が堅調に推移したことから、売上高は146億66百万円（前年同四半期対比12.3%減）、営業利益は1億94百万円（前年同四半期は78百万円の営業損失）となりました。

（コミュニケーションシステム事業）

国内の通信ケーブル需要は低調だったものの、固定費削減等の効果により、売上高は141億28百万円（前年同四半期対比9.5%減）、営業利益は3億85百万円（前年同四半期対比103.9%増）となりました。

（デバイス事業）

複写機用ローラ等の精密デバイスが底堅く推移し、固定費削減等の効果もあり、売上高は140億53百万円（前年同四半期対比14.2%減）、営業利益は6億37百万円（前年同四半期は35百万円の営業損失）となりました。

（その他）

売上高は13億56百万円（前年同四半期対比12.9%減）、営業損失は2億2百万円（前年同四半期は3億33百万円の営業損失）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,145億21百万円(前連結会計年度末総資産1,230億69百万円)で、主に受取手形及び売掛金および現金及び預金が減少したため、前連結会計年度末より85億47百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は889億49百万円(前連結会計年度末負債合計973億44百万円)で、主に短期借入金および支払手形及び買掛金が減少したため、前連結会計年度末より83億95百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は255億72百万円(前連結会計年度末純資産257億24百万円)で、前連結会計年度末より1億51百万円減少しております。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、中期経営計画で掲げている施策を推進したことにより損益が改善したことから、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みとなりましたので修正いたします。

詳細につきましては、本日(平成29年2月2日)公表しました「平成29年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	150,000	2,500	1,000	600
今回修正予想(B)	153,000	3,300	1,500	800
増減額(B-A)	3,000	800	500	200
増減率(%)	2.0	32.0	50.0	33.3
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	169,712	949	△1,461	△9,151

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,410	4,070
受取手形及び売掛金	42,345	39,097
たな卸資産	21,095	19,425
その他	4,021	3,661
貸倒引当金	△17	△11
流動資産合計	73,856	66,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,005	7,801
機械装置及び運搬具(純額)	5,118	5,133
土地	23,702	23,603
その他(純額)	2,235	2,421
有形固定資産合計	39,061	38,959
無形固定資産	1,837	1,553
投資その他の資産		
投資有価証券	6,759	5,913
退職給付に係る資産	398	821
その他	1,306	1,181
貸倒引当金	△150	△151
投資その他の資産合計	8,313	7,764
固定資産合計	49,212	48,278
資産合計	123,069	114,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,260	18,915
短期借入金	40,261	35,917
未払法人税等	283	253
工事損失引当金	161	164
事業構造改善引当金	13	33
その他	12,417	11,530
流動負債合計	74,398	66,812
固定負債		
長期借入金	15,388	14,625
役員退職慰労引当金	102	111
退職給付に係る負債	565	550
その他	6,890	6,849
固定負債合計	22,946	22,136
負債合計	97,344	88,949

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	5,536	5,536
利益剰余金	△9,168	△8,398
自己株式	△15	△16
株主資本合計	20,574	21,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	566	789
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	5,543	5,543
為替換算調整勘定	2,173	705
退職給付に係る調整累計額	△3,485	△3,243
その他の包括利益累計額合計	4,796	3,795
非支配株主持分	353	433
純資産合計	25,724	25,572
負債純資産合計	123,069	114,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	127,758	111,028
売上原価	115,175	97,065
売上総利益	12,583	13,962
販売費及び一般管理費	12,720	11,812
営業利益又は営業損失(△)	△136	2,149
営業外収益		
受取利息	50	30
受取配当金	24	44
その他	99	119
営業外収益合計	174	194
営業外費用		
支払利息	732	641
持分法による投資損失	177	73
為替差損	140	64
その他	497	543
営業外費用合計	1,547	1,323
経常利益又は経常損失(△)	△1,509	1,020
特別利益		
投資有価証券売却益	11	258
国庫補助金	70	—
持分変動利益	30	—
その他	0	46
特別利益合計	112	304
特別損失		
事業構造改善費用	—	23
減損損失	207	—
その他	2	—
特別損失合計	209	23
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,606	1,301
法人税等	369	444
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,976	857
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	87
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,001	769

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,976	857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	224
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△42	△756
退職給付に係る調整額	236	242
持分法適用会社に対する持分相当額	△88	△719
その他の包括利益合計	128	△1,008
四半期包括利益	△1,847	△151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,870	△231
非支配株主に係る四半期包括利益	22	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力シス テム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客への 売上高	60,372	17,118	16,722	15,616	16,372	1,556	127,758	—	127,758
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,401	45	929	1,022	247	7,605	24,251	△24,251	—
計	74,773	17,163	17,652	16,638	16,619	9,162	152,009	△24,251	127,758
セグメント利益 又は損失(△)	684	△700	△78	189	△35	△333	△273	137	△136

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額137百万円には、未実現利益の調整額112百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電線線材事業」、「デバイス事業」および「その他」において、固定資産の減損損失をしております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「電線線材事業」で87百万円、「デバイス事業」で76百万円、「その他」で44百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力シス テム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客への 売上高	50,167	16,656	14,666	14,128	14,053	1,356	111,028	—	111,028
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,545	55	1,187	765	17	7,249	18,820	△18,820	—
計	59,713	16,712	15,854	14,894	14,071	8,605	129,849	△18,820	111,028
セグメント利益 又は損失(△)	690	408	194	385	637	△202	2,114	35	2,149

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額35百万円には、未実現利益の調整額22百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

品種管理体制の見直しにより、「電線線材事業」に含めていた一部の電力用ケーブルを当第1四半期連結累計期間より「電力システム事業」に、また、より事業の実態に即した採算管理を行うため、「電線線材事業」に含めていた一部の資材取引を当第3四半期連結累計期間より「コミュニケーションシステム事業」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」については、当該変更後の金額に組替えて表示しております。

b. 関連情報

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
112,915	14,600	242	127,758

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
99,320	11,537	170	111,028

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。